

平成28年4月13日

北海道新幹線 吉岡定点付近において停止信号を受信した事象について

1. 発生日時 平成28年4月1日（金曜日） 13時14分頃
2. 発生場所 北海道新幹線 湯の里知内信号場～奥津軽いまべつ駅間（755k933m～756k164m）
3. 概況
 - 13:14 頃 はやぶさ22号の運転士より、吉岡定点付近で瞬時停止信号を受信したため非常停止したが、その後所定信号に回復している旨、輸送指令に報告あり
 - 13:15 頃 信通指令は軌道回路モニタにて、列車が在線していない在来線軌道回路が瞬時短絡していたことを確認
 - 13:16 頃 安全を確認し運転再開
 - 14:03 頃 後続のはやぶさ24号については、異常なしとの報告あり
 - 15:27 頃 現地調査開始
 - 17:30 頃 当該箇所付近で金属片を発見したため、関係社員により除去
 - 18:02 頃 現地調査終了
4. 原因 現地で発見された金属片が、列車の通過風により締結装置に介在し、在来線用レールと新幹線用レールを短絡、その後スラブ板上面に移動したものと推測される
※4月7日に 公益財団法人 鉄道総合技術研究所に成分分析を依頼
5. 列車影響 はやぶさ22号が奥津軽いまべつ駅にて2分遅延（その後仙台駅で定時に回復）
6. 付記 当該区間の直近の徒歩巡視は3月23日に実施しているが、特に異状は認められなかった
7. 対策
 - ・青函トンネル開業以降、これまでも線路清掃は計画的に実施
 - ・4月2日～3日 当該箇所を緊急的に線路清掃（755k800m～756k300m、延長500m）
 - ・軌道回路の受信レベルが低下傾向にある区間を含め計画的な線路清掃を予定